

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年5月31日

事業所名 みらいりんく糸満

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・適切な広さを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6			・子どもの人数にあった配置ができています。	・児童発達責任者、保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士の職員を配置。配置数は適切です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	4		・建物の構造上、バリアフリーにできない為、衝撃吸収のジョイントマットの敷き詰め、階段の手すり取付など安全面に配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		・朝礼・夕礼で情報共有を図っている。	・朝礼・夕礼に参加できない場合もあるので、職員間連絡帳で情報共有を図っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・職員間で話し合い業務改善を行っています。	・毎年自己評価アンケート調査を行い、結果を公表し、保護者からの意見を踏まえ改善するように務めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		1	・2021年12月にホームページ開設。	・自己評価は、ホームページ上で公表していません。ご要望があれば、紙面配布を実施します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	2		・外部評価の実施を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・各職員が研修会へ参加している。	・職員の経験年数や業務内容に応じ、適切な内容の研修を案内し、全員が研修を受けられるように配慮します。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・児童発達管理責任者がサービス計画を作成しています。	・利用開始時は、見学・体験、保護者面談を行い、ニーズの確認や子どもの様子を観察、発達検査やWISC検査等の結果を踏まえ個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・スキルリスト(学習・身辺自立、ソーシャルスキル・ITリテラシー・余暇・性)を利用しています。	・スキルリストに沿って個々人のレーダーチャートの作成し活用していきたいと思えます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・職員ミーティングで活動プログラムの計画や改善を行っています。	・活動プログラムの継続性や見直しについて関係する職員全員で、適宜検討会議を開きます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				・季節に合わせた活動や行事に合わせたおやつ作り、長期休暇時は、平日に行けない場所への外出支援など飽きのこない活動内容を工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			・室内活動(昼食作り、おやつづくり、お店屋さん・工作等)や屋外活動(遠方への外出、体験)など取り入れ、時には子ども会議を開き、子ども達で活動を決めていくなどしています。	・月刊誌、機関紙・本・インターネット等多角的に情報を収集し活動が固定化しないよう工夫します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・個別・集団・屋内・屋外と組み合わせ活動の計画を作成しています。	・一人ひとりの特性に応じ、集団適応やソーシャルスキルの視点を踏まえ、個別活動と集団活動の視点で個別支援計画を作成しています。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・午後からの出勤で打ち合わせは不十分な場合もあるが、連絡ノートやスタッフによる確認をしている。	・朝礼でその日の活動確認、夕礼でその日の活動の振り返りを行い、気になる点や対応方法の共通認識を持った方がよい事例等をあげ、情報の共有化を図りつつ、次回からの支援のステップアップに繋げる様にしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・子どもの様子を職員間で共有しています。	・夕礼を継続します。 ・個々の児童への支援の在り方、問題点の情報共有を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・毎日、個別の記録をとっています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・児童発達管理責任者により行われています。	・4月、9月に職員で計画書の検証・評価をし次の計画書作成に活かしています。 ・今後は、保護者のみならず子ども自信へ聞き取りを行い目標設定や取り組みたい事などを計画書へ反映させていきます。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				・ガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点を踏まえ活動しております。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・児童発達管理責任者等、普段、その子供の状況精通した職員が参加しています。	・児童発達支援管理責任者や対象児童により詳しく適任者と思われる職員を選んで出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				・家族や学校との情報交換がされており、申し送りなどがあれば職員間で共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						・対象児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6					・保育所や幼稚園、認定こども園等、必要に応じ積極的に情報共有と相互理解を図っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している						・対象児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1			・有資格者や広域相談支援、同業者の経験豊富な方に研修を依頼したり助言を求めています。	・児童発達センターや専門機関の研修会へ必要に応じに参加しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	1		・公園などに出かける時には、公園へきている児童を交えて鬼ごっこやかくれんぼ等一緒に楽しむこともあります。	・交流のみを目的とした活動は行っていないですが、外出時に二次的に交流が生まれる場面がありました。今後は、児童館等積極的に利用し、障がいのない子どもたちとの交流を深め地域に根ざした活動を行っていききたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3				・今年度系満市「自立支援協議会」の「子ども療育部会」の委員として同一法人の別事業所スタッフが活動しているので情報を共有します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				・日々の連絡帳や送迎時に活動を伝えていきます。	・日頃から子どもの状況や課題について話をする様に心掛け、必要に応じ個別相談の時間を設けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	1		・他機関からのペアレント・トレーニングの案内を配布しています。	・ペアレント・トレーニングのトレーナー養成講座を受講したので、今年度ペアレント・トレーニングを開催したいと思います。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				・契約時丁寧な説明を心掛けています。	・継続して丁寧な説明を心掛けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・保護者からの悩みや相談は速やかに対応し、必要な時は助言をします。	・日頃から子どもの状況や課題について話をする様に心掛け、必要に応じ個別相談の時間を設けています。 ・保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心がけます。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		・バーベキューや研修会を開催し親睦を図っています。	・一度に集めまる保護者会、少人数で集まる保護者会に分け、意見交換をし易い場を設けます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			・苦情があった場合は、迅速に対応します。	・苦情やご意見を頂いた場合、真摯に受け止め対応致します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1	・活動内容を速やかにブログへ掲載しています。	・活動内容をブログへ掲載していますが、全保護者がブログを確認できるようホームページ閲覧を勧めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	6			・職員採用時に誓約書を記入してもらっています。	・個人情報記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。 ・職員採用時に誓約書を記入してもらっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				・情報交換や保護者の意見などLineを利用し、意思疎通を図りやすいようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	1		・地域住民方が来場しやすいイベントを検討していきたいと思っております。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		2	・職員への周知は図られていますが、保護者への周知が課題です。
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・年2回避難訓練を開催しています。	・定期的な訓練を通して新しい情報も学び、安全性を高めていきたいと思っております。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・研修会の開催や外部研修参加を勧めています。	・虐待防止の為研修を通してより理解を深め学習を継続します。 ・内部研修開催や外部研修に参加する機会を設けます。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	1		・身体拘束に関しての対応方法は、契約書や重要事項説明で保護者へ丁寧な説明をし、職員へは身体拘束の条件を周知徹底します。 ・対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載します。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				・アレルギー対応のお子さんがいれば、状況を把握し情報を共有します。 ・現在医師の指示が必要な利用者はいませんが、対象児童がいる際は、指示書の基づき対応します。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・職員間で伝えあい事故防止に努めています。	・ヒヤリハットを記載できるよう、事例が発生した場合は速やかに記入するようにします。 ・より多く作成した方がよいと思っております。